

西東京市 図書館だより

平成27年(2015年) 4月1日

第57号

中央図書館

西東京市南町5-6-11
042-465-0823

保谷駅前図書館

西東京市東町3-14-30
042-421-3060

芝久保図書館

西東京市芝久保町5-4-48
042-465-9825

谷戸図書館

西東京市谷戸町1-17-2
042-421-4545

柳沢図書館

西東京市柳沢1-15-1
042-464-8240

ひばりが丘図書館

西東京市ひばりが丘1-2-1
042-424-0264

編集・発行:西東京市図書館

ホームページアドレス <http://www.library.city.nishitokyo.lg.jp>



「カッターでどんどん切ると…」

谷戸小学校5年

平成二十七年 西東京市図書館の 主な事業について

平成二十七年に図書館が行う主な事業についてお知らせいたします。

中央図書館にある地域・行政資料室では、西東京市にゆかりのある人物の著作を収集しています。今年度、国から交付される地域住民生活等緊急支援事業の地方創生先行事業費を活用して、西東京市の歴史に親しみ、郷土への愛着を深められるよう、ゆかりのある人物を紹介する冊子を作成します。併せて、冊子の内容に関連した講演会や展示会を開催し、図書館ホームページには専用コーナーを設けるなど、より多くの方に知っていただけるような工夫をしております。

第二期子ども読書活動推進計画が平成二十七年に終了しますが、引き続き、第三期の計画を策定してまいります。子どもたちがいつでもどこでも必要な本を手に取り、読書できる環境を、家庭、地域、保育園(所)、児童館、学童クラブ、市内小・中学校、図書館の関連機関が連携し整備してまいります。

芝久保図書館の開架室にある書架の一部を入れ替えて、収容量を増やすことになりました。西東京市図書館は利用の大変多い図書館で、そのため、利用者から求められる図書の種類も広範囲にわたっています。施設はそれほど大きくないので、書架を変えて蔵書数を増やす方策で利用者の資料要求にこたえていきたいと考えました。書架の入れ替えに伴う休館はしませんが、準備作業でご迷惑をおかけするかもしれません。ご理解、ご協力をお願いいたします。

★声の広報をお届けしています。

お知り合いの方でご希望の方がいらっしゃいましたら
谷戸図書館(☎421-4545)へお問い合わせを

登録はかんたん！ 選んで順番を振るだけです

No.	タイトル	受取場所	予約日	予約状況	取寄
1	宇宙が始まる前には何が あったのか？	中央	2015年3月6日	予約中	
2	ソロモンの偽証 第1部 事件	中央	2015年3月6日	予約中	
3	ソロモンの偽証 第2部 決意	中央	2015年3月6日	予約中	
4	ソロモンの偽証 第3部 法廷	中央	2015年3月6日	予約中	
5	21世紀の資本	中央	2015年3月6日	予約中	

最初にここをクリックします。

巻数順貸出の登録

巻数順貸出の取消

「予約状況」画面：ソロモンの偽証（単行本全3巻）を登録する例です。最初に【巻数順貸出の登録】をクリックします。

現在の設定	タイトル
未設定	☐ 宇宙が始まる前には何が あったのか？
未設定	☒ ソロモンの偽証 第1部 事件
未設定	☒ ソロモンの偽証 第2部 決意
未設定	☒ ソロモンの偽証 第3部 法廷
未設定	☐ 21世紀の資本

タイトルにチェックを入れ
ここをクリックします。

選択完了

キャンセル

「巻数順貸出選択」画面：登録するタイトルにチェックを入れ、【選択完了】をクリックします。

貸出順	タイトル
1 ▼	ソロモンの偽証 第1部 事件
2 ▼	ソロモンの偽証 第2部 決意
3 ▼	ソロモンの偽証 第3部 法廷

貸出順を
選んでここをクリックします。

貸出順指定完了

選択に戻る

「巻数順貸出設定確認」画面：貸出順をプルダウンメニューから選び【貸出順指定完了】をクリックします。確認画面になりますので【指定する】をクリックして完了です。

西東京市では、「公共施設の適正配置等を推進するための実行計画」に基づき検討を行ってきた結果、中央図書館新町分室を廃止し、「東伏見ふれあいプラザ」で実施している「図書サービス」に変更していく予定です。サービス内容の変更にあたり、一月十七日（土）、新町福祉会館において、説明会を開催し、利用日時の拡大と利用規則の変更について説明しま

新町分室利用者説明会を 開催しました

インターネット、館内利用者用検索機で 上下巻本、シリーズ本を予約する場合は 巻数順貸出登録をお忘れなく！

この登録がないと、上中下巻等の順番に関係なく準備されますので、上巻より、中巻や下巻が先に準備されてしまうことがあります。

■「巻数順貸出登録」で順番に読めます

「巻数順貸出登録」は、予約した資料の受け取る順番を決めておくものです。

たとえば、上・中・下の3巻本であれば、上巻に1、中巻に2、下巻に3と番号を振り、上巻から順番で読めるようにします。上・下巻のときも、上巻に1、下巻に2と番号を振っておけば上巻から準備されます。

■「巻数順貸出登録」はこの手順で！（左図を参照）

まず、読みたい本の全巻を予約し、その後で順番を入力します。

- 1 読みたい本をすべて予約してください。このとき順番は関係ありません。
- 2 「予約状況」を表示し、予約資料一覧の下【巻数順貸出の登録】をクリックします。
- 3 「巻数順貸出選択」画面に変わりますので、順番を決める資料を選択し、【選択完了】をクリックします。
- 4 「巻数順貸出設定確認」画面に変わりますので、そこで貸出順を入力し、【指定する】をクリックします。

■上下巻本、シリーズ本でなくても使えます

ある作家の作品を発表された順に読んでいきたい場合や、外国文学の翻訳を読んで次に原書を読みたい場合など、自由な組み合わせで順番を決めることができます。また、本だけでなく、雑誌、CDなどを交えた順番設定が可能です。

■ここに注意！

- 1 順番がつながっていれば、複数冊が同時に準備されること（上中の2冊や上中下の3冊が一度に準備されること）があります。
- 2 他の公共図書館から借用した資料を提供する場合は、順番どおりに提供できない場合があります。

※資料の予約や「巻数順貸出登録」はカウンターや電話でも受け付けますので、図書館までご連絡ください。

図書館だより版

にんにん西東京

第8回「西東京市」学校“の始まり”



桜も咲き、入学式の季節となりました。そこで、今回は、西東京市の学校の始まりについてご紹介します。

江戸時代の寺子屋

近世後期には、西東京市地域にも「寺子屋」と呼ばれる初等教育施設があり、子どもたちに、読み・書き・そろばんを修得させることが普及していたと考えられています。

旧保谷市地域では、江戸末期に住吉町の宝晃院に「法印宥善」という社僧の「寺子屋師匠墓塔」が教え子によって建立されました。また、民俗学者高橋文太郎の著書『武蔵保谷村郷土資料』には、下保谷村の大家坊（栄町共同墓地）と福泉寺で僧侶（中山法華経寺の修験者）が手習い・読み書きを教えていたとあります。

旧田無市地域では、明治元年（一八六八）、賀陽玄順（済）が自宅で寺子屋を開き、遠く八王子や中野から通う人もいたとされます。七十名の教え子たちが師匠を慕って建立した「賀陽夢香居士碑」が総持寺境内にあります。田無小学校校庭の「養老畑」碑と共に刻まれた文字は済の筆になります。明治初年には玉井寛海の寺子屋が開設され、向台町二丁目にある

「玉井寛海法士」の墓には「筆子（教え子）連名」として八十六名の名前が台座に刻まれています。明治三年（一八七〇）ごろには漢医田中良伯が加わり寺子屋は充実していきました。

小学校の設置

明治五年（一八七二）、全国に五万余の小学校を設置する計画（「学制」）が定められました。小学校は下等四年・上等四年で、進級・卒業試験に合格しなければなりません。教科書は『日本地誌略』『万国史略』アメリカのリーダー翻訳本『読本』等の高度な内容でした。寺子屋と違って授業料も現金で納めるため、中途退学や就学率の低迷等が見られました。

田無の小学校

田無村では明治六年（一八七三）、総持寺東隣にあった密蔵院に現在の田無小学校の前身である「真誠学舎」を設立しました。教師は下田半兵衛が横浜から招いた元幕臣の刑部真琴（二十三歳）を中心に三名、生徒は七十八名でした。

明治八年（一八七五）、「田無学校」と改称し、刑部は明治十六年（一八八三）から明治三十三年（一九〇〇）ま

で長きに渡って校長を務めました。明治十五年（一八八二）、田無警察署西側の観音寺跡に新校舎が建設されました。

大正十四年（一九二五）四月、田無小学校（当時は田無尋常高等小学校）は現在の場所に新築移転しました。大きな財政負担と町民の寄付があったことから、当時の人々が教育を第一に考えていたことがわかります。

保谷の小学校

保谷小学校の前身、上保谷学校は、明治七年（一八七四）、埼玉県新座郡上保谷村字上宿の宝晃院を借用して開校し、男性教員二名、生徒八十八名が在学しました。生徒数の増加により、明治十七年（一八八四）字荒井竹に移転します。



田無尋常高等小学校（現田無小学校）授業風景
昭和13年(1938)ころ

明治二十二年（一八八九）、東京府に編入され保谷尋常小学校と改称します。明治十一年（一八七八）の卒業と同時に母校の教員に採用された加藤彦太郎は、主任訓導を経て明治三十四年（一九〇二）校長となりました。同年、保谷尋常高等小学校と改称されました。

開校当時、上保谷学校の通学区域は上保谷村に限定され、下保谷村の子どもたちは、橋戸学校と、芳谷学校の前身といわれる小保学校（ともに現練馬区）へ越境通学をしていました。そこで、村民たちは建築費用を負担し、明治十一年（一八七八）、戸長蓮見秀俊は自らの敷地内（北町一丁目）に芳谷学校を創設しました。教員は蓮見彦三郎ら二名、生徒数は七十名前後でした。

明治十七年（一八八四）、上保谷、下保谷、上保谷新田の三村と小樽、橋戸村は連合し芳谷学校は廃止となります。その後、連合は解消され、明治二十二年（一八八九）、保谷三村が合併し「保谷村」となります。旧芳谷学校は保谷尋常小学校分教室として再生し、明治二十五年（一八九二）、芳谷尋常小学校として再び独立します。大正三年（一九一四）、財政上の理由から芳谷尋常小学校は保谷尋常高等小学校の分教場となり、昭和の時代、第一分教場と改称され、現在の保谷第一小学校へとつながっていきます。

私は、図書館機能を人間の「脳」のイメージでとらえることにしている。

過日、自宅近くの館にリクエスト資料を引き取りに訪れた際、職員の方から本欄原稿の執筆依頼話を持ちかけられ、特段断る理由もないので軽いノリで引き受けた。

がしかし、こんなことになるまで、正直なところ図書館という存在について深く思いめぐらす機会はトンとなかった。

振り返ってみると、現役真只中まんなかのころは、仕事に関する書籍、雑誌、新聞等の購読は必須条件であり、置場確保には心配性の家人と腐心したこともあった。時には「なんとかならない？」と整理

処分のほめかしもあり、その都度のらりくらり言い逃れて過ごしていたものの、そうとばかりしてはおれず、ある年、自宅近くの図書館に連絡し協力を仰ぎ、予め仕分けしておいたものから利用可能な対象を快く引き取ってもらった。現役を退くのを機に大処分を決意、市内の古本チェーン店に持ち込み査定してもらったところ、百

わたしと 図書館

高橋 龍治

科事典全巻はゼロ円回答、驚きとも落胆ともつかない摩訶不思議な気分を味わったことは、今も記憶に新しい。

近年は、新聞広告などで目にとまった対象のうち、興味しんしんだが高価格の場合は、即PCで蔵書検索、リクエスト入力、同時並行的に共通利用可の市外図書館にも。

”待てない”“手元に置きたい”対象は「Kindle本」又はネット「青空文庫」からダウンロードして楽しむことにしている。電子書籍購読は家人の心配軽減対策の一環(笑)。

ところで、リクエスト入力していて気になることを最後に一つ述べさせていただきます。

リザーブユーザーが多数集中している書籍に関してですが、所蔵数・貸出期間日数などの条件の見直しや調整は可能なものでしょうか?『用意できています』通知が一日も早く頂けるような『脳』環境にして頂きたいと願っております。



した。当日は二十六名の方にご参加いただき、子どもへのサービスや、説明会に参加できなかった利用者への丁寧な周知の必要性についてのご意見をいただきました。

いただいたご意見は、今後のサービスに活かしてまいります。

図書サービスの主な内容

■図書サービスへの変更時期

平成27年10月(予定)

■サービス内容

予約資料の貸し出し、図書・雑誌の返却および利用者検索機の利用

■サービス実施日

火曜日・土曜日午前10時～午後5時(福祉会館の休館日等を除く)

※詳しくは利用者説明会配布資料(図書館ホームページに掲載)をご覧ください。

平成26年度 図書館協議会報告

平成二十六年度は、図書館長から依頼を受け、西東京市図書館基本計画・展望計画の中間報告に対する意見をまとめるための検討を重ねました。会議は、定例会四回と臨時会二回開催しました。また、視察研修を一回実施しました。

各回の議事内容について、日程順に報告します。

第1回定例会(平成26年5月22日)

諸報告。図書館基本計画・展望計画について。その他。

第2回定例会(7月17日)

諸報告。図書館基本計画・展望計画について。その他。

第1回臨時会(9月11日)

諸報告。図書館基本計画・展望計画について。その他。

第2回臨時会(11月20日)

諸報告。図書館基本計画・展望計画について。今後の社会教育行政の運営体制について(提言中間報告)。その他。

第3回定例会(平成27年1月15日)

諸報告。事業計画について。その他。

第4回定例会(3月12日)

諸報告。図書館の事業評価について。その他。

視察(平成26年11月27日)

三鷹市立南部図書館みなみ、武蔵野市立中央図書館視察。委員六名、職員七名参加。

なお、今期の委員は、平成二十七年四月三十日をもって任期が終了します。

編集後記

今年度、地域・行政資料室では、地方創生を目的とする交付金を受けた新事業に取り組みます。また、地域・行政資料電子化事業は二年目を迎えます。これからも地域に関する情報提供に努めるとともに、地域を撮影した写真や、執筆された著作物、コミュニティの活動記録など皆様からの情報提供をお待ちしています。